ジョブ産雇
公益財団法人 産業雇用安定センター
きっとみつかる いい人、いい仕事
2026年10月， vol.68

Sanko.北海道

札幌市中央区北1条西2丁目1
札幌時計台ビル8F
TEL(011)232-3853／FAX(011)232-1138

「Sanko.北海道」は産業雇用安定センター北海道事務所からのお知らせです。

就任のご挨拶　－苫小牧公共職業安定所－

ハローワーク苫小牧
大　津　勝　海　所長



令和８年４月１日付けで着任しました大津です。当所には初勤務となりまして、２回目の単身赴任となっております。職員の４割が20～30代で若手職員が多く、価値観、認識の違いに戸惑いを感じながらも、毎日のコミュニケーションを大切にしつつ、スタッフ1人ひとりのパフォーマンスの向上に取り組み、地域ニーズに応じた質の高いサービス提供を目指しています。

ジョブ産雇さまとのご縁につきましては、思いつくだけでも、リーマンショック後の「実習型雇用支援事業」、コロナ禍での「在籍型出向支援」のほか、キャリア人材バンク事業、大量離職者発生時の再就職支援など幾度となく連携・ご協力をいただいており、改めて感謝申し上げます。

さて、当所は、苫小牧市をはじめ、白老町、安平町、厚真町、むかわ町、平取町、日高町の１市６町を管轄しており、特に苫小牧市は、道内を代表する物流の要所として、紙・パルプ、自動車部品、金属などの工業基地や、石油備蓄基地（厚真町には火力発電所）などのエネルギー基地のほか、DX・GX関連産業としてデータセンターの建設や脱炭素（CO_2分離回収貯蔵、国産グリーン水素、アンモニア、液化天然ガスなどの供給）の各種取組が進められております。

また、「ホッキ貝」の水揚げ量が日本一、ラムサール条約登録湿地である「ウトナイ湖」、世界的に珍しい三重式の火山「樽前山」があり、自然環境にも恵まれた魅力ある地域です。



キラキラ公園（苫小牧市）

管内の雇用情勢については、令和８年７月の有効求人倍率が0.96倍と５か月連続で１倍を下回り、有効求人数も11か月連続で前年同月を下回るなど、厳しい状況が続いております。

また、有効求職者数では、中高年層の増加を背景に、求職期間の長期化や採用後の定着の難しさも懸念され、企業の人材ニーズと求職者ニーズのギャップ（職種・働き方等）は、多くの企業において人手不足が続いている中で、摩擦的、構造的な課題としてマッチングがなかなか進まない一因となっており、ハローワークの需給調整機能のさらなる活性化が求められています。

現在、「ささえる求人充足プロジェクト」を推進しており、当所内に「マッチング支援コーナー」を設置して、医療・介護・保育の３分野でアウトリーチによる求人充足支援、関係助成金の活用促進のほか、潜在求職者の掘り起こし、職業訓練や職種転換の支援などに取り組んでいます。訪問先の事業主からは、厳しく、かつ切実なご要望を多数いただいておりますが、ハローワークへの期待、その役割として受け止め、丁寧かつ粘り強く支援を進めております。

これまで積み上げてきた信頼やハローワークならではの雇用のネットワークを大切にしつつ、雇用での「地域」の下支え、「企業」への人材供給と育成支援、そして生活している「人」が安心して働ける場の提供に貢献できればと考えております。



ジョブ産雇さま、事業主の皆さまには、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

賛助会員様限定の無料WEBセミナーを開催

8月26日、当センター本部主催の賛助会員様限定の無料WEBセミナーが開催されました。

テーマは「～ハラスメント防止に繋がる～アサーティブコミュニケーション」と題して、ハラスメントの基礎知識を確認し、その防止と共に職場・生活での円滑な人間関係づくりや組織力の向上に繋がるアサーティブコミュニケーション（相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えるスキル）を学んでいただくことを目的としたものです。

当日は、全国の賛助会員企業様約500社にご参加いただきましたが、このうち当事務所の賛助会員企業様には10社にご参加いただき、ありがとうございました。

賛助会員入会のご案内

会　費；１口／年額１万円
◇特典①；機関紙「かけはし」の無料配付
◇特典②；人材情報（求職情報リスト）の無料配付
◇特典③；Sankoセミナーの賛助会員価格
◇特典④；職員の定期訪問による情報提供 等々

第２回ジョブ産雇フォーラムの開催！

10月30日（金）13:30～15:45、昨年に続いてジョブ産雇（公益財団法人産業雇用安定センター）主催のオンラインフォーラム（ZOOMウェビナーによるライブ配信）が開催されます。

今年のテーマは、人材育成のための「出向」～越境学習による人と組織の成長戦略～です。

近年、人手不足やAIなどの急速な進展により産業・社会の構造が大きく変化しているなかで、企業の人的資本経営、とりわけ人材育成のあり方が一層重要になっています。

本フォーラムでは、人材育成型の「出向」に焦点をあて、企業の枠を超えることで得られる新しい価値観やスキルアップ（越境学習）が出向を実施する企業と受け入れ企業の双方にもたらす変革について、学術的知見や最新事例を交えて考えていきます。

皆様のご参加をお待ちしております。



視聴は無料ですが、10/27（火）までに事前申込みが必要となります。

お申込みは、右の二次元コードまたは当センターホームページのお知らせからフォーラム案内ページにアクセスのうえ、申込ボタン（Googleフォーム）よりお申込みください。



ブロック内の参与・コーディネーター会議

去る9月10日・11日、当事務所が開催事務所となり「北海道・東北ブロック参与・コーディネーター情報交換会議」が札幌市で開催されました。

当事務所からは一戸統括参与、西谷参与、佐藤、寺尾の両コーディネーターの4名が出席したほか、東北6県から統括参与6名と参与6名、コーディネーター6名に出席していただき、総勢22名での会議となりました。

会議1日目は、参与・コーディネーターの合同会議として「参与・コーディネーターの連携状況・意見交換」を目的に、キャリア人材バンクや大型送出案件における成立までのプロセスに関するグループワークと各事務所の取組事例の共有、また、会議2日目は参与とコーディネーターそれぞれの分科会とし、参与分科会は「業務KPI達成に向けた各種取組の共有」にかかるグループワーク、コーディネーター分科会は「公正な採用選考の基礎知識」「キャリア・アンカーの活用」にかかる講義とグループワークを行い、業務に関する知識を深めていただきました。遠路出席いただいた職員の皆さまに感謝申し上げます。



また、2日目のコーディネーター分科会で講義をしていただいた宮城事務所の鈴木副所長にお礼を申し上げます。

地下鉄主要15駅にポスターを再掲示

当センターの認知度向上の取組とキャリア人材バンクの個人登録を広く周知するため、札幌市営地下鉄の主要15駅の「ふれあいインフォメーションコーナー」に、キャリア人材バンク個人登録のPRポスターを再度1か月間（8/3～9/2）掲示しました。

前回は3/2～4/1の1か月間掲示しましたが、今回も札幌市の抽選に当選し掲示することができました。当選確率は25%と言われているなか、抽選に申し込んだ当事務所の佐藤コーディネーターは抽選2回で100%の当選であり、強運の持ち主かもしれません。

PRポスター



地下鉄南北線北24条駅インフォメーションコーナー